

「分煙環境を整備」

JT岐阜 景山支店長が抱負
第一支店



「行政とも協議しながら分煙環境を整えたい」と抱負を語る景山徹也支店長 岐阜新聞本社

日本たばこ産業(JT)岐阜第一支店(岐阜市)に7月1日付で着任した景山徹也支店長が4日、岐阜新聞本社を訪れ、「たばこを吸う人も吸わない人も共存

できるよう分煙環境を整えたい」と抱負を語った。受動喫煙対策を強化する改正健康増進法の4月施行を受け、「行政と協議しながら吸わない人も不快にな

らないよう喫煙場所の整備を進めている」と説明。新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で、自宅で喫煙する人向けに火を使わない加熱式たばこの需要が伸びており、「周りの人に配慮する意識が日本人は高い」と語った。

新型コロナウイルスの影響で企業活動に制約があり、「先行きが読めない中、主体的に動くことが大事」と強調。現在は美濃和紙を使った喫煙所マップを美濃市の業者と作成中で、「地域と密接につながり、社会貢献していきたい」と語った。